

事務事業名		一日保育体験事業		会計	一般会計		事業種別	政策	開始	23	終了		
H27担当課等名	子育て支援課		H27係等名	保育係		H26係等名	保育係						
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり										
	施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実										
目的	対象(誰・何を)	保育所に通園する児童の保護者						指標名及び単位		26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	保護者が子育ての楽しさを再認識するとともに、園とのコミュニケーションを深めより強固な信頼関係を築く。						対象指標		保護者の家庭数			800
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを産みやすい社会環境であると感じている対象者の割合											
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	一日保育体験事業への参加者数(人)			400	451	500	500					
	定性目標												
事業概要	<p>1 自分の子どもが通園する保育所で、保護者が保育の体験をし、子どもの園での生活やその活動を直接見聞する機会とすることにより子育ての楽しさを再認識する。(特に父親の育児参加を促すことにより母親の育児負担の軽減にもつなげていく)</p> <p>2 対象者:保護者1,144人(できる限りの範囲で、卒園するまでに1回の体験をしていただく)</p> <p>3 日程:(4月)受入準備・広報・日程調整、(5~11月)一日保育体験の実施、(12月~3月)活動の総括、来年度への反映</p> <p>4 実施内容:園で、遊び(運動・絵本・製作など)や給食(配膳・食事・片付け)など、実際に子どもの保育を体験する。</p>												
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標				
	<p>1 実施方法</p> <p>(1)保護者が園で、実際に保育の体験を行う。</p> <p>(2)参加者へのアンケートから保育に対する悩みや課題等を吸い上げる。</p> <p>(3)その中から、家庭でのしつけ等に役立つ情報を抽出し、それを「家庭教育啓発推進事業」の子育て講座等に活用し育児支援につなげる。</p> <p>(4)教育啓発推進事業の子育て講座等に活用し育児支援につなげる。</p> <p>2 対象者:市内の公立保育園に通園する園児の保護者</p> <p>3 日程</p> <p>(1)5月~11月:一日保育体験の実施</p> <p>(2)12月~3月:課題抽出・育児支援情報への活用</p>				実施保育所数 参加保護者数				18園 451人				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		296	200	189	200								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他		0	200										
一般財源		296	0	189	200								
人件費計(千円)②		179		250									
正規職員所要時間		50		70									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		475	200	439	200								
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>公立保育園・幼稚園全園で実施することができた。参加者からは好意的な内容のアンケート結果が寄せられている。特に、家庭では見られない集団生活の中の様子に注目していただいている。また、参加者を増やす方策として、アンケート結果を基に、実施の目的を周知することも必要であることがわかった。通園期間のうちに1回は保護者が参加できることを目標とする。</p>												
改革改善の考え方	①問題点	保護者が家庭でのしつけを学ぶ上で有効な情報を、他の子育て支援策でも活用できるようにする。											
	②改革提案	参加した保護者のアンケートの回答から、子育てや家庭でのしつけにかかる様々な問題点や課題を抽出し、それを「家庭教育啓発推進事業」の子育て講座等に活用して、有意義な育児支援につなげる。											